

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	268	生活保護世帯扶助費等経費	会計	01	一般会計	
基本	07	老後の生活や低所得者の自立を支える	款	03	民生費	
策			目	02	民生事業活動費	
施策	1	低所得者福祉の充実	細目	101	民生事業活動費	
			細々目	02	生活保護世帯扶助費等経費	
基本計画該当頁		75	行革大綱の重点事項番号		6	
担当部課	コード	703000		評価者氏名	川合 文秀	連絡先
	名称	大山田支所 健康福祉課				47 - 1151 (内線) 220

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
行旅人	(対象件数)	伊賀市から隣市への移動が可能になる。
根拠法令・要綱等 伊賀市行旅人旅費等保護費支給事務取扱要綱		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
本年度事業内容	行旅人を救済し、行旅を継続するための旅費を支給した。	状況変化等 大山田支所管内においては、公共交通機関は西へ移動できる三交バスしか無く、行旅人への旅費の支給は非常に少ない状況であり、今後も大きく変化することは無いと思われる。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託		扶助費	0		扶助費	1	10	扶助費	5	3	扶助費	5	3	扶助費	5	3	扶助費	5	3
	工事																		
進捗率(%)		事業費計(A)	0		事業費計(A)	10		事業費計(A)	3		事業費計(A)	3		事業費計(A)	3		事業費計(A)	3	
事業投入人員		人件費(B)	人	0	人件費(B)	0.05	360	人件費(B)	0.05	360	人件費(B)	0.05	360	人件費(B)	0.05	360	人件費(B)	0.05	360
フルコスト(A)+(B)			0			370			363			363			363				363

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	10	3	3	3
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	0	10	3	3	3
計	0	10	3	3	3
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値			
		H17	H18	H19	H20		
行旅人移送	件	目標		目標		3	3
		実績	0	1			
		目標		目標			
		実績		実績			
		目標		目標			
		実績		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値			
			H17	H18	H19	H20		
行旅人移送	対象者	人	目標		目標		3	3
			実績	0	1			
			目標		目標			
			実績		実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	通過途上者への緊急的な給付で、必要な措置である。
有効性	3	伊賀市要綱により確実に実施していくことが必要。
達成度	3	行旅人に対し旅費を支給することで、引き続き行旅を続けることができる。
効率性	3	次の駅までの交通費を実費支給するため、支給金額は公共交通機関の運賃による。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	本庁・支所間に於いて交付済みの連絡徹底